

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績			
【法人名】 埼玉高速鉄道株式会社	目標	安全・安定輸送の確保 鉄道運転事故ゼロの継続	沿線地域への貢献 【令和4年度目標】 輸送人員 104,500人/日 【令和5年度目標】 輸送人員 111,000人/日 【令和6年度目標】 輸送人員 117,800人/日	経常黒字の継続による経営基盤の強化 【令和4年度目標】 営業利益 2,112百万円、経常利益 1,899百万円 【令和5年度目標】 営業利益 2,331百万円、経常利益 2,127百万円 【令和6年度目標】 営業利益 2,664百万円、経常利益 2,470百万円	岩槻延伸の早期実現に向けた積極的な協力・取組 延伸に向けた手続き及び将来への取組
	各年度の実績	【令和4年度実績】 運転無事故継続	【令和4年度実績】 輸送人員 108,027人/日	【令和4年度実績】 営業利益 2,724百万円、経常利益 2,554百万円	【令和4年度実績】 「薬師寺東塔模型」と「玄奘三蔵法師像」の設置
	法人による自己評価	日々の安全確認の励行や施設・設備の適切な維持管理に努め、平成13年の開業から21年間の運転無事故を継続した。 4月からは一部列車の8両編成の運行、また、3月には東急新横浜線・相鉄新横浜線との直通運転を開始した。	子供たちに人気のトレーディングカードゲームとのタイアップ企画でスタンプラリーを行ったほか、各駅でのミッションのクリアを目指して周遊するイベントを実施した。 また、各種イベントに合わせた企画乗車券や鉄道の日を記念した当社車両デザインのマスクingtape付企画乗車券の発売など工夫を凝らした取組を行った。	資産の有効活用として、当社線各駅構内スペースにおいてPCR検査実施事業者への貸出や認定こども園へ車両基地内を保育施設として貸出等を行った。	地下鉄7号線延伸の早期実現を祈念し、浦和南ロータリークラブより寄贈された「薬師寺東塔模型」と岩槻の華林山 最上院 慈恩寺が所蔵する「玄奘三蔵法師像」を浦和美園駅に設置した。 引き続き、岩槻延伸に向けて、関係自治体を実施する手続に積極的に協力するとともに、地元と協働した岩槻地区の観光資源の活用策の検討、また、オープンな会議の開催や意見の聴取等、受け皿づくりに努めてまいりたい。
【中期経営計画の期間】 令和4年度～令和6年度					